

かがやけ



船越っ子

第32号 平成30年12月18日

文責: 船越小学校 校長 野中邦明

いつでも どこでも だれにでも

 のこもったあいさつを 自分から

ふるさとを愛し、心豊かでたくましい児童の育成
～ 船越小の児童としての自信と誇りを ～



4年生作の題字です

14日に「人権集会」を開催しました。船越小では5月に各学級の人権のめあてを決めています。(各教室前の廊下に吊り下げているものです)人権週間の期間中だけではなく、日ごろから考えていこうとする取組は素晴らしいと感じています。しかし、定期的に取り組むについて振り返りをしている学級もありますが、つつい相手をつつたりする言動をとる場面がよくあります。けんかもあります。相手を茶化すような場面も見られます。その都度どんな言動が良くなかったのかについて振り返らせながら、相手に謝ったり次からの行動について考えさせたりしています。これからも「自分がされていやなことは友達にはしない」「自分が言われていやな気持ちになることは友達にも言わない」ということをいつも考えさせていきます。



5. 6年 学習会

17日には5. 6年生を対象に学習会を開催しました。講師として「国境なき医師団」「災害人道医療支援会」に所属され世界各国で医療活動に従事されている 菅村洋治先生 をお招きしました。子どもたちは初めて見るものや画像に眼を輝かせていました。自分たちがどれだけ幸せなのかを感じるとともに、どんなことができるのかについても考える貴重な1時間でした。



船越小6つの無言

- ① 全校朝会するとき
- ② 給食するとき
- ③ 掃除するとき
- ④ 集団下校するとき
- ⑤ 放送があるとき
- ⑥ 特別教室移動するとき

できなかったときは、やり直しをしています。キーワードは「徹底」です。

人権週間にちなんだ『ふれあい読書』

11月末までに、船越小の子どもたちは通算10,493冊の本を読んでいます。(目標値は年間12,000冊です)なかなか図書室に足が向かない人もいますが...

月曜日には人権週間における図書委員会の取組として読み聞かせがおこなわれました。聞いている人を意識しながら本に向き合う図書委員の姿が素敵でした。

